

# 常新新聞

発行編輯人 川崎文治  
印刷所 川崎文治  
福島縣石城郡平町長崎町廿五番地  
發行所 常磐毎日新聞社

定価 一冊五銭  
月刊 五拾五銭  
半年 二拾五圓  
一年 五拾圓  
廣告 五拾五銭  
印刷所 常磐毎日新聞社

## 家賃

△柳町	十五圓
△仲町	十二圓
△湯屋	十五圓
△住宅向	十圓
△商店向	十五圓
△白銀町	十五圓
△商店向	十五圓
△住宅向	十圓

## 地賃

五丁目 地所付賣家  
電話三二番  
電話三二番  
電話三二番

## 看護婦

平町看護婦會  
電話三七〇番

看護婦 派出所 かに應す

### 常磐文藝

#### ◇思ひ夜

希 苦 男

君あらぬ我が床の冷たさ  
今宵また去りし夜の  
嬉しき語りと思ひ寝に  
せて温き夢路たざらん  
近からん春の夜の  
樂しき胸に秘めて  
冬よ早や何處へか  
去れと祈るなり

「冬來りなば  
春遠からじ」  
情けなのひとの苦しみ  
しばし忍びて  
とこしひにかたき口づけ  
花のもとに誓かはん  
—二五・二・二七—

## 伊坂氏に多謝す

川崎文治

昨日は平町大火災の廿年忌に相當する由であるが余は幼き日の物凄かりし一日を追憶して慄然たりざるを得ない、時恰も日露戦後の傷痍未だ醫せず糧て加へて其の年は稀れなる飢饉であつた爲め大火災の災害を蒙つた平町は極度の疲弊と困憊に陥つたのである。伊坂眞正氏は此難局に處すべく町長として迎えられた、然も平町が大火災を一紀劃として町勢の上に非常なる

伊坂氏に多謝す (二)

平町は平町大火災の廿年忌に相當する由であるが余は幼き日の物凄かりし一日を追憶して慄然たりざるを得ない、時恰も日露戦後の傷痍未だ醫せず糧て加へて其の年は稀れなる飢饉であつた爲め大火災の災害を蒙つた平町は極度の疲弊と困憊に陥つたのである。伊坂眞正氏は此難局に處すべく町長として迎えられた、然も平町が大火災を一紀劃として町勢の上に非常なる

## 一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

### 川崎文庫

平町長崎町三五番  
御中次第規則書進呈

## 可驚勢デ!

一時賣盡シ マシタガ

### 鶴屋商店

再ビ入荷取揃ヘマシタ  
電話百四十番

## 石川の 銀なべ

町田町平 番三四シモシモ

元造 鹽屋本店 電話七二番

## 火災に盗難に 絶對安心の出来る 荒木製ベント式金庫

店理代作製荒木京東  
店商車轉自野高  
(番六二三話電) 町田町平

### 丸登式株店

川添房二郎

平町田町 電話三二三番	
丸登式株店	
川添房二郎	
電話	
株	
式	
株	
店	
丸登	
式	
株	
店	
川添	
房	
二	
郎	

## 式株買中值

### 電話に金融致し

電話に金融致し

### 商人連が今から 張り込む櫻花の候

盛り澤山なプログラム 樂しみな花見景氣

嚴寒の中にも春の恵みは刻々と宿りて梅もちらほらさき出した長い間の冬ごもり

#### 四月を

平町ではいやはや上にも賑やかにして松ヶ岡の櫻を天下に紹介する

#### 中心

して同月中に催す事に既に決定して居るものは縣下青年團の聯合大

#### 博覽會

は同月一ぱい開催されるはずであるからこのプログラムだけでも

#### 各方面

に持ち上つて居るから黄金時代來初めの花見景氣が出るものと

#### 夏井農産品評

石城郡夏井村養鶏養豚講習會並びに農産品評會は十六日同

### 常磐片々

花の平町に諸種の大會開催の豫定

其折に平町を紹介する唄と踊はまた例の大漁節と四季の踊りか

平町固有の盆踊りが何故紹介出来ぬ

純朴な差す手引く手に祖先來の郷土魂がこめられてあ

一度も是れが晴れの舞臺に乗せられた事がない、内輪

村小學校に開催、郡から野村、堀内、山田の三技手出張したと。

#### 理科主任

協 議 諸般の事項 石城郡小學校理科主任會議

#### 勸業博に

博多人形の 出品を申込み 平町に開かるべき勸業博覽

#### 博多人形の

出品を申込み

平町に開かるべき勸業博覽會に目下出品の申込續々利

倒しつつあるは既記の如くであるが更らに博多人形師

#### 母の會の

目的と方法 平陽校の試み

既報平陽實科女學校校友會主催の母の會は廿二日午前

の踊とヨソ行きの踊があるのか

#### 麥作の

發育が不良

#### 石城分場調査

石城郡地方の麥作は昨今二三寸に生育したが農事試験場石城分場の調査によると

#### 平町學務協議

平町學務委員會は本日午前十時

九時から發會式を擧げる筈であるが其の目的や方法は左記の如くである

(目的) 家政に關する諸種の研究、家庭と洋理の料

### 生徒募集の陣容を

整へた平の私立校

平町の私立學校は佑賢學舎、警城青年學校、藤田

裁縫女學校、平陽實科女

學校の四校であるが各校の特色や募集人員は左記の如くである

#### 青年學校

在學生は大部分農村からの通學生で是れも矢張り農村青年に對

する補習的の教育を眼目となし募集人員百名の由

#### 平陽實科

新校舎落成と共に本年高等女學部五

#### 炭の臭をこる法



炭にいやな臭ひのついたのは、一晝夜ほど白水につけて

ておくことにより、火鉢についたものを即座にけすに

は、炭火の上に醫油を二三滴おとしますと、醫油の焦

#### 勸博の上棟式

平町勸業博覽會は昨日午後一時

から各館の上棟式を執行したが來月中旬頃迄には何れ

も落成すると。

#### 貯水川改修

豊間消防組が

石城郡豊間村大字豊間にては貯水池なく水利不便である

爲め雨火の際非常な困惑を來す處から同村消防組にて

禮式等婦人に必要なる心得(方法) 毎日曜日午前九時より午後四時迄夫々

斯道大家を招聘し親しく講習を受く(經費) 一回

十幾位宛の會費を爲す(會場) 平町振槌小路平陽實科女學校

#### 不平受付

投資歡迎

糞尿只汲み問題 平町隣接農會が糞尿無料汲み取り

に就いて夫々協議を凝らし來月一日から愈々實行する

と云ふ事を各新聞が報導して居ますが平町としては甚

#### 道具を投ぐ

振り回した亭主

平町字南町折箱職山本留七(三九)は妻さだとの間に子供迄あるに拘らず女狂ひを爲

す爲めさだは愛想をつかして實家に逃げ戻つたのでさ

#### 自働車唧筒

磐炭にて試験

磐城炭礦にては去る十七日如何なる種類型式の自働車

も即座に變じて、消火ポンプとなる「神長式自働車唧筒」を貨物自働車に裝置し

て試験を行つたが頗る好成績を擧げた

#### 夏井事務管掌

石城郡夏井村長高木長吉氏は去

る十七日死去し助役も欠員である爲め石城郡書記猪狩

長壽氏は十七日附同村々長事務管掌を命ぜられた。

#### 平町人事

出生

△才地小路二四 當時神奈川縣係士ケ谷須藤又次郎氏二女房

△長橋町二九 當時茨城縣多賀郡松岡村吉田金五郎氏三女房

だの兄同町七丁目鈴木米次郎は十七日妹の荷物を受取りに行つた處留七は手當り

次第に家財道具を投げ亂暴を働いた爲め米次郎は平署

に説諭顯出たと

#### 臨時教員檢定

濱三

郡小學校臨時檢定試験は十七日より三日間平第一小

學校にて行はれ續いて二次試験を執行すると

まふので不經濟です、經濟な薪の焚き方、薪も石炭と同じく無闇に澤山おし

込んで不經濟ですをしてあまり太くてもいふつて損

ですし細すぎるとすぐに燃えてしまひますから、適度の太さになし焚く時割目を上に皮附の方を下にして燃

すと薪が少なくてすみます。

#### 私人私人

新田日善次郎氏(辯護士) 風邪から頭痛甚だしく

臥床静養中

伊坂員正氏(前町長) 退職して後益々健康を恢復し自由な體になつたから今

度は大瀧發電所退治に努力する

#### 婚姻

△田町五五 辯護士山野邊政政氏

(三三) 石城郡錦村大字江栗山野邊富子(二一)